

製品名: AGPS ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85275**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 73 kDa

抗原情報

遺伝子名	AGPS
別名	ADAS; ADPS; RCDP3; ADAP-S; ADHAPS; ALDHPSY
遺伝子 ID	8540.0
SwissProt ID	O00116
免疫原	ヒトアルキル DHAP 合成酵素の組み換えタンパク質

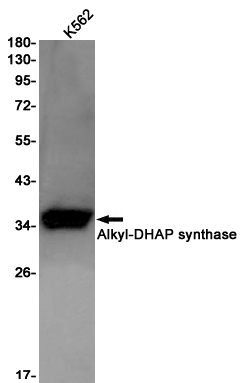
背景

この遺伝子は、FAD 結合酸化還元酵素 / 転移酵素 4 ファミリーのメンバーです。エーテル脂質合成の第二段階を触媒するタンパク

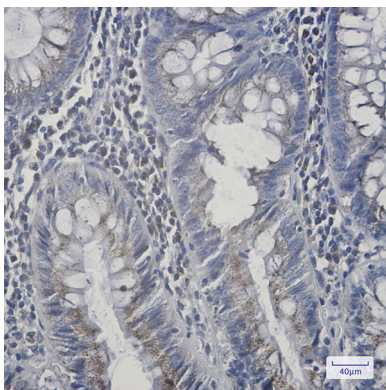
質をコードしており、この段階では、アシルジヒドロキシアセトンリン酸 (DHAP) から長鎖アルコールの付加と長鎖酸アニオンの除去によってアルキル DHAP が生成します。このタンパク質はペルオキシソーム膜の内側に局在し、FAD を補因子として必要とします。

研究分野

画像データ



AGPS 抗体を使用した K562 溶解物中のアルキル DHAP 合成酵素のウエスタン ブロット分析。



アルキル DHAP 合成酵素抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。